

平成 28 年度自己評価結果公表シート

青英幼稚園

1. 本年の教育目標

- ◇ 基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉使い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等)特にお話しを聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活に必要な協調性を養う。
- ◇ 何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと満足感が自信になり、それがさらに限らない可能性を育むように導く。
- ◇ 体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、元気に明るく子どもらしい豊かな心身を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◇ 子どもたちが意欲的に取り組む過程を作る。
 - ☆一人ひとりの子どもの育ちを見極め、遊びの中から徐々に興味を持たせて、意欲的に取り組み更なる成長を目指せる過程を整える。
 - ☆見る、聞く、経験する事により常に与えるだけに終わらず、考え行動できる力を身につける。
- ◇施設環境の向上
 - ☆明るく活動しやすい保育室、のびのび元気一杯に過ごせる園庭、いつでも音楽に親しめる楽器の部屋等、園児にとってより安全で清潔、豊かな心を育む環境を整えていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画の作成	園長と主任が昨年度の指導内容を再確認し、打ち合わせ資料として作成したものを基に時代にあわせて改訂を行っている。
子ども達の成長にあわせて具体的な指導施策を立案	クラス担任は、子ども達全員の様子を記録することにより各園児の長所・短所と課題を把握し、指導目標を明確化している。全体への指導はもちろんのこと必要ならば個人指導を施す。
指導の成果と残された課題を報告	各クラスで月毎の目標を定め、達成状況を報告し合いながら次の月案作成に役立てている。 保護者からの細かな意見・要望や、日々の子どもの姿について毎日職員室での朝礼終礼の場で発表し、園に関する情報を全員が共有し自由闊達に意見交換できる環境をつくっている。

<p>体育指導</p>	<p>1年間を通してカリキュラムを立て、運動場、ホール、プールを季節や天候に合わせ有効に使い、体を十分に動かし進んで運動ができる様に、週2回の体育活動を行い充実感を味わう。</p> <p>体育活動時間外に、遊びの中でも体力作りや運動能力向上の時間を持つ事を意識している。</p>
<p>あそびを通して工夫したり、協力したりできる環境整備</p>	<p>相互に譲り合い協力して遊べる環境をつくり、時には子どもに任せて創造力を養う。又適切な助言を与えて集団生活の理解を深める。異年齢児との交流を通じて思いやりの気持ちを育てる。</p>
<p>健康管理</p>	<p>既往症・体質について家庭から連絡を受けている点は、全職員が把握した上で接することを心掛けている。</p> <p>登園時にこどもの様子を担任が視診し、常に子どもの様子に気配りを行い、変わった様子がみえれば家庭と迅速に連絡を取っている。毎月、身体測定を行い成長の度合いを把握し異常がないかチェックする。1学期に内科検診、歯科検診を園内で行い、さらに検尿検査を実施している。</p>
<p>子どもの長所を見つけて、それを褒めて自信を持たせる指導を展開</p>	<p>一人一人の子どもの長所を褒めることにより自信をもたせ、意欲の向上に繋がる指導を継続するようにしている。</p>
<p>体育・音楽・絵画の各領域における指導の工夫</p>	<p>特にこの3領域においては、専門的な指導研修で資質の向上を図ると共に、取り組み時期を集中して指導する期間を設けて一層の効果を目指す。</p> <p>運動会・お遊戯会での発表や絵画コンクールに出品をし、成果を十分に感じ取る。</p>
<p>規則正しい生活習慣を身につける指導</p>	<p>登園から降園までの一日の流れの中で、身につけてほしい生活習慣の取得を繰り返し指導している。静と動の時間を考慮し、けじめのある毎日を心掛けている。</p>
<p>全クラスが年に数回の合同保育を実施</p>	<p>各教職員が公開保育やクラス合同保育を行い、お互いの保育を見合うことによって、参考となる部分を発見できるようにしている。</p>
<p>園内外の研修会への参加</p>	<p>夏休みを利用し、各種研修会に参加することによりレポートを提出して、学んだ内容を共有化している</p>

<p>保育終了後の延長保育・早朝 預かり保育 休園日の預かり保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て真最中の保護者にとっては、育児・家事・就労を連立させることは大きな壁であり、大きな負担ともなっているため、現代社会において求められる幼稚園の役割を担える幅を拡大する。 ・保護者の就労の有無にかかわらず利用できる“休園日の預かり保育”を実施しているが、時間的にも気持ちの面でも余裕を持って子育てに向き合えるように、子育て支援を拡充している。
----------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>食育に関する実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と子どもと一緒に同じメニューを食べながら、楽しい雰囲気の中で食事をとっている。 ・食事の挨拶、食べる姿勢、マナー等良い習慣が身につけられるように指導を心掛ける。 ・旬の食材を生かし、年中行事に応じた季節感を感じることができるよう献立を工夫している。 ・家庭に対し、献立のみではなく健康や栄養情報の知識や食事作りのアドバイスを実施し連携を取っている。 ・試食会の開催により食育に関心をもってもらう工夫をしている。 ・延長保育のおやつでは、日替わりでお菓子やジュースを用意しリラックスできるよう心掛けている。
<p>園だよりやその他のプリント で幼稚園の情報を発信</p>	<p>園の教育方針や取り組み状況をホームページや園だより、その他のプリントで情報発信している。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園長と主任が中心となり、年間の目標、課題について全教職員が共通に理解をし、それぞれ自己分析・評価し、積極的に課題に取り組むことができた。

取り組み状況を話し合うことで各先生の課題を具体的に確認することができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
園児に接する時の基本姿勢を周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員がよく理解できていることではあるが、今一度再確認の上、是正に取り組むことが大切である。 特に、言葉使いの適正を意識し、親切かつ丁寧な接し方を心がける。
自然災害時の危機管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時の危機管理について、子どもの引き渡し方法を含めた災害対応マニュアルを作成し、教職員間で確認を行う。 ・ 常に最新のニュースや気象情報を得られるような環境づくりを実施。 ・ 定期的な避難訓練を行い自然災害の恐ろしさを知り、知識を深め緊張感を持って参加する。
保護者への情報提供とより正確な要望把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者との個人懇談会をとおして一層の情報収集を充実していくとともに、行事等については役員会で意見聴収をする。 ・ 出された意見に対しては十分検討し、必要なものについては園の考え方を示し説明を加えて理解を得られるよう最大の努力を重ねる。改善すべきところは、的確かつ迅速に修正する。 ・ 当園の教育方針に則しつつも、子育て中の保護者が期待するところを把握し、現代社会において求められる幼稚園のありかたを模索しながら、本園のビジョンを策定する。